



大賀茂にお住いの  
**山崎 初規さん・ちひろさんの**

長男 <sup>とうま</sup>**斗真** くん (4歳 8か月)

次男 <sup>りくと</sup>**陸斗** くん (2歳 10か月)

こんにちは☆  
慎重派のとうまと、  
好奇心旺盛なりくとです。  
お外で泥んこになって  
遊ぶのが大好きなんだ♪

みなさんのお宅のアイドルを募集しております。市役所へどしどしお寄せください！



協力隊ってなんだろう？  
下田市地域おこし協力隊

向原一平

「地域おこし協力隊」、きつとまだ馴染みの薄い単語なものでないでしょうか。ウイキペディアでは、「地域外の人材を受け入れ、地域協力活動を行ってほしい、その定住・定着を図ることで、都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度」とあります。これだけを読むと、地域協力活動を行えば、その地域に愛着が生まれ、定住に繋がるといふ安直な考えに思えます。「恋愛と結婚は別」と同じで、地域愛とそこに居住することは完全にイコールにはなりません。その理由は、いくら地域愛があっても現実の課題として仕事や収入面の問題があるからだと思えます。

以上を踏まえて改めて、私が考える協力隊とは、「その地

域のリアルな経済や風習を知るために移住し、地域協力活動を通じて独自ネットワークを築き、新たなビジネスの種を発見する。ただし、自活して定着できるレベルになるまでの3年間は国が報酬を負担し、受け入れ自治体も隊員に協力していくもの」ではないかと思えます。

さて、私の場合は隊員になり2か月半、ありがたいことに野菜やフルーツ、鮮魚などのお裾分けや、地元の人たちからの誘いに恵まれ、少しずつ下田の経済や風習などを知り始めてきたところです。

活動に関しては、今まで広告会社で培ってきたスキルを活かし、観光協会内に「下田新聞」という新メディアを作りました。情報発信をしつつ取材を通して独自の仲間を開拓するWEBメディアです。



そしてもう一つ、ラップのリズムで観光PRを行うCMコーナー「下田サイファー」が市内一部地域で8月からスタートする予定です。このCMは、インターネット動画サイトにも上げていく予定です。



どちらも人とは違った視点で観光資源を捉え、表現に磨きをかけて面白いメディアを目指してまいります。皆さまご協力をお願いします！



下田新聞は  
こちらからどうぞ！

問合せ先

観光交流課観光戦略係

(窓口) ☎ 23913

伊豆縦貫自動車道を早期完成しよう！！

「伊豆縦貫自動車道ロゴマーク」を利用して、伊豆縦貫自動車道の整備促進と活性化を県内外にPRしましょう！！ご利用方法については、以下の市ホームページをご覧ください。

■ 下田市ホームページ <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>

